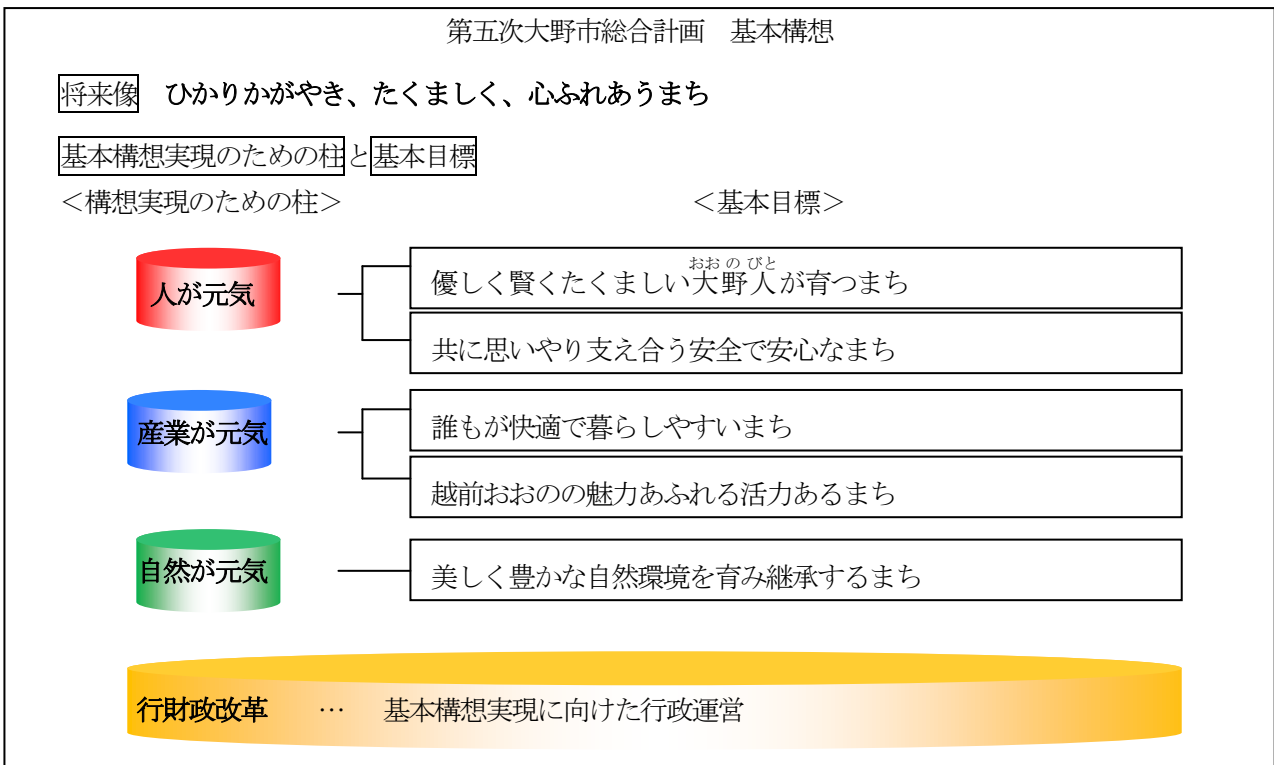


## 1 総合計画とは

- 大野市の将来を展望し、まちづくりの目標と方向を明らかにした最上位の計画であり、長期的・総合的な市政運営の指針となる計画
- 「基本構想」と「基本計画」で構成
- 基本構想では大野市の将来像やまちづくりの目標を設定  
期間は平成23年度から令和2年度までの10年間
- 基本計画では基本構想に沿って必要な施策や事業を体系的に明示  
後期基本計画“越前おおの元気プラン”の期間は平成28年度から令和2年度までの5年間



## 2 平成30年度の実施状況

～後期基本計画“越前おおの元気プラン”3年目の主な事業の実施状況～

### (1) 「基本目標 優しく賢くたくましい大野人が育つまち」

- ・国際理解教育推進員配置事業や学校運営支援員、部活動指導員配置事業などにより、小中学校の教育環境を整備し、教育力の向上を図った。
- ・伝統文化伝承事業、旧橋本家住宅保存整備事業、結の故郷まちなか文化芸術事業、民俗博物館（仮称）検討事業などにより、文化的遺産の保存と活用及び文化施設の整備と充実を図った。
- ・国民体育大会等大野市実行委員会運営経費、国民体育大会競技開催負担金などにより、福井しあわせ元気国体・元気大会を開催した。



福井しあわせ元気国体・元気大会

- ・現役世代交流促進事業補助、結の故郷づくり交付金事業、世代間結づくり事業などにより、地域コミュニティの強化と地域の課題解決に向けた自主的な地域づくりを支援した。

⇒教育環境の整備や文化振興に取り組むとともに、結の心を育んできた市民力・地域力により、相撲やカヌーをはじめとする福井しあわせ元気国体・元気大会の大野市開催競技を盛り上げるとともに訪れた選手などをもてなし、成功に導くことができた。

## (2)「基本目標 共に思いやり支え合う安全で安心なまち」

- ・老人クラブ活動補助、生涯学習人材活用事業、シルバー人材センター補助により、高齢者の交流活動を支援するとともに、活躍の場づくりに努めた。
- ・生活支援体制整備事業により、市全域を対象に第1層協議体、阪谷・小山地区において第2層協議体を設置し、生活支援コーディネーターを中心に、地域における支え合いの体制づくりに努めた。
- ・消防団員の災害時における出場手当を見直し、次年度に向けて処遇改善を図った。
- ・消防緊急通信指令システム整備事業により、最新の消防緊急通信指令システムを導入更新し、より正確で迅速な消防・救急体制の充実強化を図った。
- ・空家等対策経費により、法令や条例に基づく空き家等の適切な管理を促進するとともに、越前おおの空き家シンポジウムを開催し、空き家の解消と活用について市民の意識啓発を行った。
- ・児童デイサービスセンターにおいて、保育所等訪問支援事業を新たに実施し、発達に気がある児童や障害のある児童への支援体制を強化した。



空き家シンポジウム

⇒高齢者に対する充実した福祉・医療サービスを維持するとともに、高齢者の活用や活躍の場の推進を図った。また、安全で安心なまち実現の一環として、空き家の解消や活用について、市全体で考えていく機運の醸成を図った。

## (3)「基本目標 誰もが快適で暮らしやすいまち」

- ・中部縦貫道対策事業により、大野油坂自動車道の早期開通に向けた関係機関への要望活動などを行った。
- ・重点道の駅「(仮称)結の故郷」への出荷団体である「産直の会」が設立された。
- ・「まるごと道の駅」拠点整備事業により、重点道の駅の土木・建築に係る実施設計を完了した。
- ・水道計画策定事業により、上水道と市営簡易水道のより良いあり方を検討している。
- ・定住促進住宅取得支援事業、都市景観推進事業などにより、中心市街地での住宅取得を支援するとともに、中心市街地の景観保全に努めた。
- ・市内路線バス等運行事業、広域路線バス運行事業補助、越美北線等利用促進事業、新しいデザインのラッピング車両を活用したイベントなどにより、バスやJR越美北線など公共交通の維持と利用促進を図った。



道の駅完成イメージ図

⇒人にやさしい道路環境や快適な生活関連の基盤の整備を維持するとともに、重点道の駅「(仮称) 結の故郷」の実施設計や産直の会の設立など、中部縦貫自動車道の開通に向けたハード・ソフト両面の準備を着々と進めた。

#### (4) 「基本目標 越前おおのの魅力あふれる活力あるまち」

- ・越前おおのブランド推進事業により、大野市が全国ネットのメディアに取り上げられるなど、市の知名度や認知度の向上に努めた。
- ・商品等販路拡大支援事業、特産作物ブランド力強化事業補助などにより、特産品をはじめとする越前おおのブランドの付加価値向上や販路拡大を図った。
- ・鳥獣害のない里づくり推進事業により、電気柵の設置など地域ぐるみの有害鳥獣対策を支援するとともに、地域おこし協力隊によるジビエ料理講習の開催など各種事業に取り組んだ。
- ・越前おおの版DMO設立検討事業により、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たすDMOの設立に向けた検討を行った。
- ・大野・勝山・永平寺観光推進エリア創出計画実行委員会負担金、幕末明治150年博実行委員会負担金などにより、県や周辺市町と連携し、周遊観光の推進に取り組んだ。
- ・越前おおの暮らし応援事業をはじめ、住宅、教育などさまざまな分野の支援策により、定住の促進を図った。
- ・新たな産業団地の整備に着手するとともに、企業誘致活動事業、企業立地助成金により、積極的な企業誘致に努めた。



名水を活用した新商品「名水すこサイダー」

⇒越前おおのブランドの積極的な情報発信による観光誘客を行うとともに、将来の観光面の受け皿の核となるDMOの設立について検討した。また、新たな産業団地の整備に着手するとともに、企業誘致活動に力を入れ、IT企業のサテライトオフィス誘致に成功した。農林業分野では、地域おこし協力隊も活用しながら、鳥獣害対策に取り組むなどした。

#### (5) 「基本目標 美しく豊かな自然環境を育み継承するまち」

- ・「水への恩返し Carrying Water Project」により、市民の水に対する感謝や地下水保全意識の向上につなげるとともに、東ティモールへの寄付目標額を達成した。
- ・化石保全事業、化石発掘体験センター管理運営経費などにより、和泉地区の化石を活用した地域活性化及び観光誘客を行った。



東ティモール共和国の子どもたち

⇒本市の誇りである水を活用した取り組みである「水への恩返し Carrying Water Project」により、東ティモール共和国への寄付目標額を達成することができた。また、化石発掘体験センターを拠点として、化石資源を活用した観光誘客に取り組んだ。

(6) 「基本構想実現に向けた行政運営」

- ・企画研究・政策推進事業により、SDGs（持続可能な開発目標）の推進に努めた。
- ・ふるさと納税推進事業により、寄付額の増額を図るとともに、大野市の取組みや特産品のPRを図った。
- ・広報広聴事業により、広報紙やホームページ、フェイスブックなどのSNSを活用した情報発信に努めた。



SDGsをテーマとした若者座談会

⇒健全な行財政運営に努めながら、地方創生・人口減少対策の各施策を推進するとともに、情報発信にも積極的に取り組んだ。また、新たな取組みとして、国際的な目標であるSDGsの推進にも取り組み始めた。

3 将来の見通しの推移状況と成果指標の達成状況

(1) 人口の推移状況 《平成32年目標人口 32,000人》

平成22年 35,291人 (国勢調査)

平成30年 31,827人 (10月1日現在の福井県人口推計)

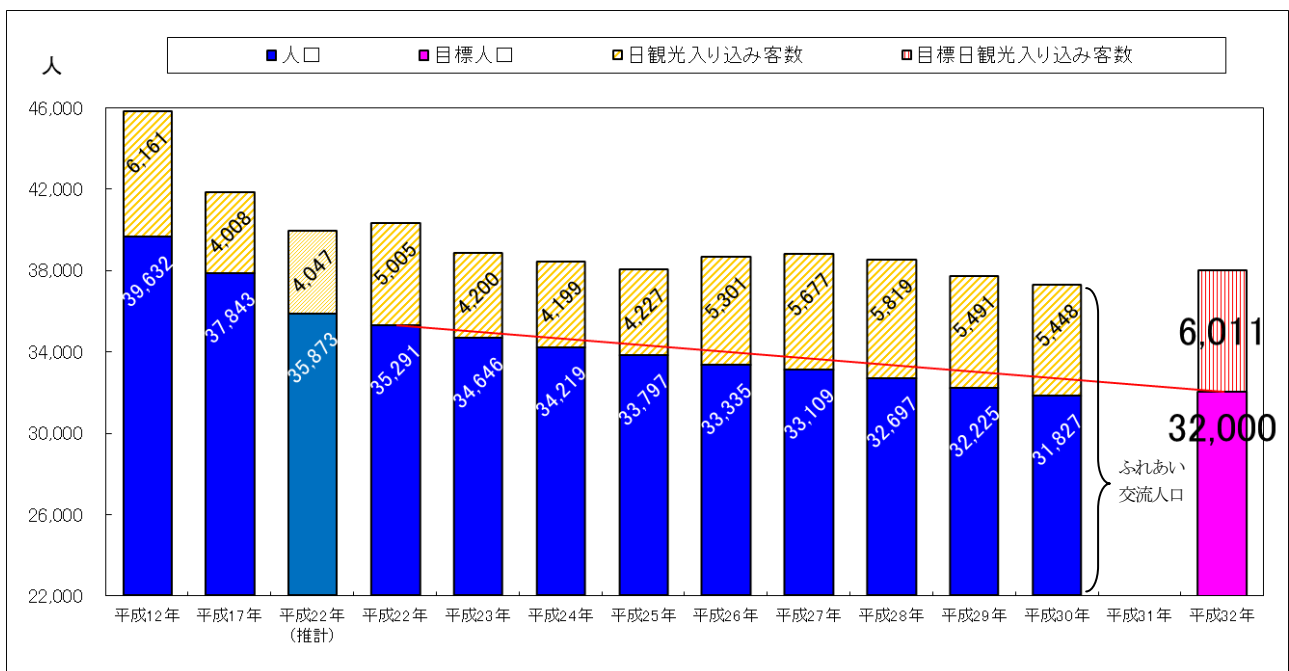
⇒ 年間約400人のペースで人口減少が進んでいる。

(2) ふれあい交流人口の推移状況 《平成32年目標ふれあい交流人口 38,000人》

平成22年 40,296人 (平成22年の推計値よりも約300人増加)

平成30年 37,275人 (推計人口+一日当たり観光入り込み客数)

⇒ 一日当たり観光入り込み客数の横ばい状態が続いており、人口の減少分を補いきれなくなっている。



図：人口とふれあい交流人口の推移 (資料:国勢調査、福井県人口推計、市商工観光振興課)



(3) 成果指標の達成状況

平成30年度に目標を達成した成果指標の数 32(27)

( )内は前年度達成数

基本目標ごとの基本施策数・成果指標数・平成30年度の目標達成数

基本目標	基本施策数	成果指標数	目標達成 成果指標数
優しく賢くたくましい大野人が育つまち	5	11	4(4)
共に思いやり支え合う安全で安心なまち	8	23	11(10)
誰もが快適で暮らしやすいまち	8	18	3(1)
越前おおのの魅力あふれる活力あるまち	8	25	9(8)
美しく豊かな自然環境を育み継承するまち	5	12	3(3)
基本構想実現に向けた行政運営	4	5	2(1)
合計	38	94	32(27)

後期基本計画“越前おおの元気プラン”掲載成果指標の達成状況一覧

■ は目標達成しているもの

基本目標	基本施策	成果指標				単位
		指標	平成26年度 現状	平成30年度末 実績	平成32年度 目標	
優しく賢くたくましい大野人が育つまち	結の心あふれる人づくり	図書館の来館者数	—	102,043	87,500	人
		公民館講座・教室受講者数	24,428	24,423	27,500	人
		国際交流講座開催数	10	41	20	回
		ICT機器の活用率	—	小学校 87 中学校 73	100	%
		「将来の目標や夢を持っている」割合	小学校 92 中学校 72	小学校 91 中学校 87	小学校 100 中学校 100	%
	豊かな心を育てる文化力の育成	指定等文化財件数	135	142	141	件
		公演などの開催回数	15	7	16	回
	活力あふれるスポーツ社会の実現	みんなでスポーツ参加者数	2,149	2,010	2,500	人
		スポーツ施設の利用者数	286,971	258,781	300,000	人
	共に力を合わせるふるさとづくり	協働のモデル事業	2	2	4	件
人権関係の啓発活動		19	25	20	回	
共に思いやり支え合う安全で安心なまち	高齢者の安全安心の確保と社会参加の促進	要介護認定率	19.2	19.0	22.5以下	%
		サロンの参加人数	18,700	18,651	22,000	人
		雇用が促進された高齢者の数	6	23	30	人
	障害のある人への支援	障害者相談支援センター相談件数	3,153	3,446	3,300	件
		障害者が一般就労した件数	23	38	35	件
		児童デイサービスセンター利用件数	723	1,360	750	件
	子どもと子育て家庭への支援	地域子育て支援センターの利用者数	421	493	430	人
		婚活セミナー参加者数 ※	187	17	250	人
	保健予防と地域医療の推進	特定健康診査の実施率	39.5	42.1	60.0	%
		特定保健指導実施率	22.0	45.6	60.0	%
		かかりつけ医の浸透率	74.5	72.7	83.0	%
	共に支え合う地域福祉の推進	自立相談支援センター相談件数	—	41	60	件
		ボランティア派遣者数	98	246	120	人
	災害に強いまちづくりの推進	自主防災組織の結成率	93.0	96.1	100	%
		普通救命講習の受講率	16.0	33.0	26.0	%
	防災・消防基盤の整備	里山砂防事業の実施箇所	1	1	2	箇所
		住宅の耐震化率	69	71	79	%
		消防水利の充足率	54.5	57.9	65.0	%
		被災者用トイレ環境の整備	0	市20 県17	50	基
		被災者の安心感の向上	1	1	1	回/年
周囲に影響のある管理不全な空き家等の戸数		96	75	90	戸	
犯罪、事故、消費者被害がないまちづくりの推進	刑法犯認知件数	120 (26年)	85	100以下	件	
	消費者相談センター相談件数	215	284	260	件	

※婚活セミナー参加者数は、事業効果を検証し、事業内容を見直したことにより、参加者数が大きく変動しています。

基本目標	基本施策	成果指標					
		指標	平成26年度 現状	平成30年度末 実績	平成32年度 目標	単位	
誰もが快適で暮らしやすいまち	中部縦貫自動車道の整備促進	中部縦貫自動車道大野油坂道路の全線 開通	大野東～和泉間の 工事着手	大野～大野東間の用地 取得(約9割)、荒島第 2・下山・新長野トンネ ルの掘削工事、和泉～ 油坂間の用地取得完了	大野～油坂間の 一部供用開始		
		「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」に おける核となる施設の整備	重点「道の駅」に選 定	産直の会設立、土木お よび建築に係る実施設 計	供用開始		
	幹線道路網の整備	国道158号境寺・計石間の供用開始	工事未着工	詳細設計、用地取得(一 部)、道路改良工事	供用開始		
		西部アクセス道路の供用開始	事業化	供用開始	供用開始		
		都市計画道路中保中野大橋線の整備	未着手	早期事業化要望	事業化		
	人にやさしい道路 環境の創出	市道の改良率	82.5	83.1	83	%	
		橋梁補修数	9	15	15	橋	
		歩道のバリアフリー率	40.7	41.6	41.9	%	
	快適な生活関連の 基盤整備	上水道の有収率	68.9	70.0	75.0	%	
		公共下水道整備率	54.5	69.6	78.1	%	
		合併処理浄化槽設置数	1,595	1,662	1,778	基	
	快適な住宅の整備	高齢者等賃貸住宅家賃補助件数	48	36	64	件	
	高度情報化の推進	観光Wi-Fiステーションの設置箇所数	0	13	15	箇所	
	公共交通手段の確 保	大野市内バス乗客数	35,425	27,824	36,000	人	
		広域路線バス乗客数	284,451	243,595	285,000	人	
		越美北線の乗客数	336,378	(未公表)	347,000	人	
	雪に強いまちづくり	流雪溝の整備	87,403	87,732	88,000	m	
		降雪期前の雪下ろし作業者登録者数	123	136	200	人	
	越前おおのの魅力あふれる活力あるまち	越前おおのブランド 戦略の推進	ブランド発信にかかわる人数	569	719	750	人
			里の恵み認証登録者数	31	35	60	人
産地保証登録者数			105	126	150	人	
越前おおの型農業 の推進		活性化に取り組む集落数	18	22	30	団体	
		新規就農者数	21	26	30	人	
		特産作物の生産拡大	9	51	45	件	
		特産作物の生産促進	里芋 111	里芋 88.1	里芋 130	ha	
			ナス 3.9	ナス 2.5	ナス 13		
			ネギ 35	ネギ 26.9	ネギ 40		
			キク 14	キク 11.6	キク 16		
		環境調和型農業の実践	JAS 7	JAS 4	JAS 10	人 経営 体	
県特裁 64			県特裁 79	県特裁 80			
耕作放棄地の再生		1.3	1.9	2.2	ha		
農道舗装整備率		87.6	90.0	90.0	%		
有害鳥獣被害の防止(防護柵の延長)		163,000	175,639	181,000	m		
森林整備の推進と 持続可能な林業の 振興		間伐材搬出材積	12,793	34,434	28,000	m <sup>3</sup>	
	林業作業士育成数	33	29	46	人		
	林道舗装率	45.82	49.8	48.34	%		
	まいたけ生産	92	135	150	t		

基本 目標	基本施策	成果指標				
		指 標	平成 26 年度 現状	平成 30 年度末 実績	平成 32 年度 目標	単位
越前おおのの 魅力あふれる 活力あるまち	中心市街地の活性化	市街地の観光入り込み客数	65.9 (過去5年の平均)	84.6	88	万人
		歩行者通行量	4,233	3,411	5,000	人
	戦略的な観光の推進	観光入り込み客数	193 (26年)	199 (暦年)	220	万人
	地域間交流の推進	交流を行う自治体数	13	13	15	自治体
	定住の促進	定住受け入れ件数	34	95	64	件
		定住のための住宅取得等助成件数	201	361	350	件
		空き家情報バンク制度成約件数	9	29	20	件
	雇用の確保と働く環境の整備	創業者数	2	14	10	人
		女性起業家・経営者の数	1	5	5	人
		育児休業取組事業所数	4	11	25	事業所
美しく豊かな自然環境を 育み継承するまち	地下水の保全と湧水文化の再生	11月の平均地下水位 御清水観測井	1.02	1.29	1.20 未満	m
		春日公園観測井	5.08	6.04	5.50 未満	
		菖蒲池(浅井戸)観測井	6.49	7.21	7.00 未満	
	豊かな自然環境の保全と創出	地域で設置された自然環境に配慮した施設の設置数	11	12	17	力所
		森づくりイベントへの参加者数	436	347	520	人
		化石発掘体験者数	2,984	8,353	5,000	人
		和泉郷土資料館での企画展の開催	0	1	1	回
	快適な生活環境の保全	水質基準を達成した河川の数	11	11	11	河川
		水洗化率	51.0	55.6	65.4	%
		違法な野外焼却に係る苦情件数	7	15	0	件/年
	良好なふるさと景観の形成	芝桜などの植栽面積	330,000	451,548	500,000	m <sup>2</sup>
	次代につなぐ持続可能な社会の形成	1人1日当たりのごみの排出量	875	938	850	g/人・日
		ごみの資源化率	24.5	23.2	26.0	%
堆肥の購入量		2,846.60	2,883	4,100	m <sup>3</sup>	
基本構想実現に向けた行政運営	市民総参加・協働型の市政の推進	パブリックコメント案件1件当たりの意見数	2.8	11	8	件
	情報化社会に対応した市政の推進	オープンデータ数	3	8	15	件
		施設予約システムでの利用可能施設数	4	4	10	施設
		電子申請システムでの利用可能手続数	18	33	40	件
		市ホームページアクセス件数	305,916	845,252	370,000	件

※成果指標項目をベースに掲載しています。

第五次大野市総合計画  
平成30年度における取組状況報告  
  
令和元年6月  
大野市企画総務部政策局 総合政策課